

令和5年度第2回千葉市国民健康保険運営協議会  
令和6年2月1日  
千葉市健康保険課

# 令和6年度国民健康保険料の改定（案） 及び当初予算（案）について

# 1 令和6年度国民健康保険料の改定（案） について

# 国民健康保険料の改定（案）について

国民健康保険法施行令等の改正に伴い、以下の内容を反映する。

## 1 賦課限度額の引上げ（保険料の上限を引上げ）

区分	医療分	支援分	介護分	合計
改定前	65万円	22万円	17万円	104万円
改定後	65万円	<b>24万円</b>	17万円	<b>106万円</b>

## 2 軽減判定所得の引上げ（低所得者への軽減措置を拡大）

区分	2割軽減	5割軽減	7割軽減
令和5年度	43万円+53.5万円×世帯人数	43万円+29万円×世帯人数	43万円
令和6年度	43万円+ <b>54.5万円</b> ×世帯人数	43万円+ <b>29.5万円</b> ×世帯人数	43万円
差	<b>+1万円</b>	<b>+0.5万円</b>	±0万円

## 3 千葉市独自の減免基準額（低所得者への軽減措置を拡大）

区分	被保険者数1人	被保険者数2人	被保険者数3人
令和5年度	124万円	176万円	215万円
令和6年度	127万円	180万円	220万円
差	<b>+3万円</b>	<b>+4万円</b>	<b>+5万円</b>

# 国民健康保険料の改定（案）について

令和5年度の保険料率で保険料を計算した場合、歳入・歳出との差引きで**8億円の歳入不足**

【歳入】 (単位:億円)

区 分		R6
国民健康保険料		169.4
法定繰入金	基盤安定繰入金	42.8
	その他	15.7
法定外繰入金	ルール分	6.6
	収支不足分	8.0
基金繰入金		0.0
県支出金		565.4
その他(国庫支出金、諸収入)		2.6
計		810.5

【歳出】 (単位:億円)

区 分	R6
総務費	12.8
保険給付費	555.6
納付金	232.8
保健事業	6.5
その他(還付金等)	2.8
計	810.5

【基金保有額】 (単位:億円)

区 分	R7 (R7.3.31見込)	R6 (R6.3.31見込)	R5 (R5.3.31現在)
国民健康保険 財政調整基金	21.4	26.4	23.9

## ●保険料改定（案）

歳入不足となる8億円に対し基金を繰入れることにより、保険料改定率を引き下げる。

(1) 財政調整基金の保有額のうち**5億円**を歳入予算に繰入れし、補填財源として活用

(2) なお不足する**3億円**を保険料の増額改定で対応

保険料改定率：基金繰入れなし **4.27%** ⇒ 基金を繰入れ **1.80%**

基金残高：21.4億円（5億円取崩した場合）

# 国民健康保険料の改定（案）について

議題 1

## ●改定後保険料率

区分	医療分			支援分			介護分		
	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減
所得割	6.81%	6.95%	0.14P	2.73%	2.90%	0.17P	2.34%	2.36%	0.02P
均等割	20,640円	20,640円	0円	8,400円	8,400円	0円	10,800円	10,680円	△ 120円
平等割	24,840円	24,840円	0円	10,200円	10,080円	△ 120円	8,160円	8,040円	△ 120円

※介護分は40歳～64歳の加入者が対象

## ● 1人あたり平均保険料（年額）

区分	令和6年度		差(B)-(A)
	料金改定前(A)	料金改定後(B)	
医療・支援	98,269円	100,226円	1,957円
医療・支援・介護	108,470円	110,424円	1,954円

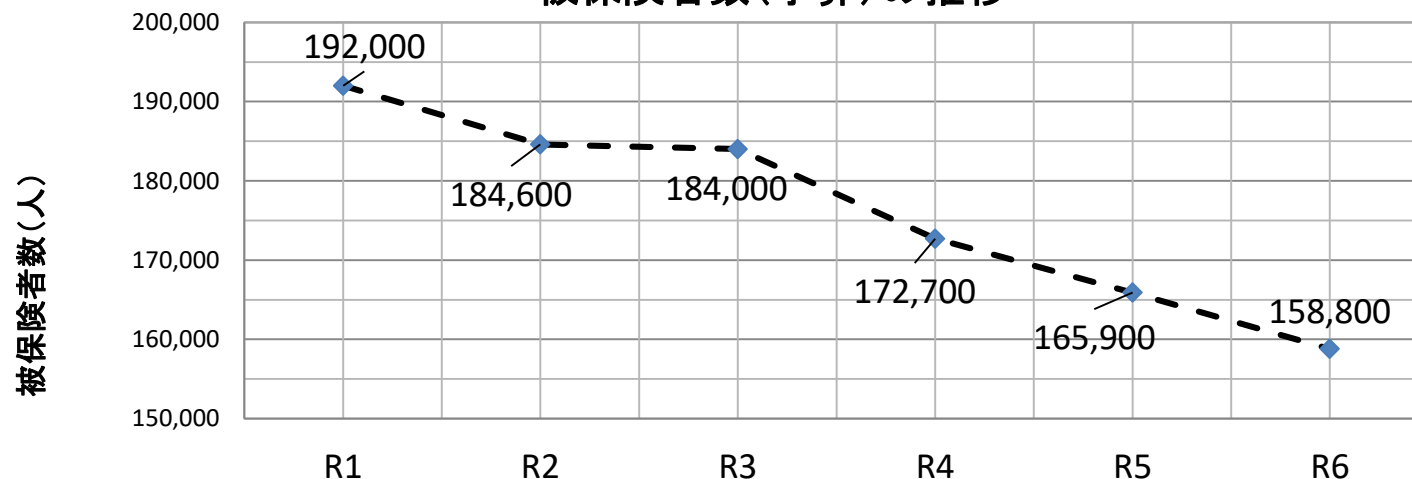
## 2 令和6年度当初予算（案）について

# 当初予算（案）について

● **被保険者数：158,800人（前年度比 ▲7,100人 ▲4.3%）**

- ⇒ ・団塊の世代の後期高齢者への移行が増加することによる減少
- ・社会保険の適用拡大によって、国保から社保へ移行することによる減少

被保険者数(予算)の推移



● **予算規模は810億5千万円**で、令和5年度当初予算と比べ、**15億5千万円(1.9%)減**

- ⇒ ・一人当たりの保険給付費及び納付金の金額は増加するも、被保険者数の減により予算規模は縮小

(単位: 億円)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	881.7	825.2	819.8	818.2	826.0	810.5
増減額(対前年度)	▲ 43.2	▲ 56.5	▲ 5.4	▲ 1.6	7.8	▲ 15.5
増減率(対前年度)	▲4.7%	▲6.4%	▲0.7%	▲0.2%	1.0%	▲1.9%

# 当初予算（案）について

## 議題 1

### 【歳入】

(単位:億円)

区 分		R6(a)	R5(b)	増減(a)-(b)	増減率
国民健康保険料		172.3	178.9	▲ 6.6	-3.7%
法定繰入金	基盤安定繰入金	43.0	43.4	▲ 0.4	-0.9%
	その他	15.6	15.1	0.5	3.3%
法定外繰入金	ルール分	6.6	5.1	1.5	29.4%
	収支不足分	0.0	0.0	0.0	—
基金繰入金		5.0	3.6	1.4	38.9%
県支出金		565.4	577.0	▲ 11.6	-2.0%
その他(国庫支出金、諸収入)		2.6	2.9	▲ 0.3	-10.3%
計		810.5	826.0	▲ 15.5	-1.9%

### ● 主な増減

#### ・保険料：172.3億円

(対前年度比 -6.6億円 -3.7%)

⇒ 保険料改定(+1.8%)を行うものの、被保険者数の減により減少

### 【徴収率目標】

(単位:%)

	R6	R5	差
現年分	94.0	93.9	0.1
滞納繰越分	24.6	24.3	0.3
合計	83.6	85.1	-1.5

#### ・基金繰入金：5.0億円

(対前年度比 +1.4億円 +38.9%)

#### ・県支出金：565.4億円

(対前年度比 -11.6億円 -2.0%)

⇒ 保険給付費の減に伴う県支出金の交付減(次ページにて説明)



# 当初予算（案）について

## 【歳出】

(単位:億円)

区 分	R6(a)	R5(b)	増減(a)-(b)	増減率
総 務 費	12.8	11.5	1.3	11.3%
保険給付費	555.6	568.9	▲ 13.3	-2.3%
納 付 金	232.8	238.2	▲ 5.4	-2.3%
保 健 事 業	6.5	6.2	0.3	4.8%
その他(還付金等)	2.8	1.2	1.6	133.3%
計	810.5	826.0	▲ 15.5	-1.9%

### ● 主な増減

・保険給付費：555.6億円  
(前年度比 -13.3億円 -2.3%)

一人当たり保険給付費：35.0万円  
(前年度比 +0.7万円 +2.0%)

・納付金：232.8億円  
(前年度比 -5.4億円 -2.3%)

一人当たり納付金：143,571円  
(前年度比 +3,022円 +2.1%)

### ※保険給付費

医療費に対する保険者負担分。給付費に対しては県支出金が交付される。  
(療養給付費、療養費、高額療養費、出産育児一時金、傷病手当金等)

### ※納付金

県内の保険給付費等の費用を賄うために、市から県に納めるもの

⇒ 保険給付費・納付金ともに高齢化の進展や医療の高度化等の影響により、一人当たりの金額は増加したものの、被保険者数の減により、総額は減少

# 当初予算（案）について

## ●令和6年度 新規事業等

### ・インセンティブ付き口座振替キャンペーン：予算額 600千円

収納率の向上を目的とし、口座振替利用率を高めるため、抽選を行い景品を贈呈するキャンペーンを実施。

【対 象】 新規口座振替利用申込者（R6年4月～12月）

【当選者】 クオカード 180人 千葉県特産品 20人

### ・若年層に対する保健指導：予算額 326千円

早期から生活習慣を改善し、将来の疾病予防などにつなげるために実施。

【対 象】 一日人間ドック費用助成を利用した35～39歳の被保険者

### ・糖尿病性腎症の重症化予防：予算額 15,802千円

人工透析移行防止を目的として、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクが高い方に対し、保健指導を実施。

R6年度開始分から、当該年度の健診結果に基づき速やかに保健指導を開始するよう抽出手順の変更を行う予定。

【対 象】 II型糖尿病治療中かつ腎機能が低下している70歳未満の被保険者で、かかりつけ医が保健指導を必要と判断した方